

登壇者のご紹介



ワールドゲームズフォーラム 2017

[敬称略]

特別講演 | スポーツの価値を高めるために ～スポーツが変える。未来を創る。～



鈴木 大地 (すずき だいち)

スポーツ庁 長官

1988年ソウルオリンピック 100m 背泳ぎ金メダルを獲得し、世界のトップスイマーとして活躍。現役引退後は、順天堂大学教授・水泳部監督などを務め、2013年には史上最年少で日本水泳連盟の会長に就任し、日本の水泳界を牽引。また同年に日本オリンピックズ協会会長、日本オリンピック委員会理事に就任。2015年10月、スポーツ庁初代長官に就任

講演 I | ワールドゲームズの現状と未来について



師岡 文男 (もろおか ふみお)

国際ワールドゲームズ協会 理事 / 日本ワールドゲームズ協会 執行理事

国際スポーツ団体連合 (SportAccord) 元理事として東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会招致に関わる。上智大学教授。現在、IOC・IPC 承認競技世界フライングディスク連盟理事、日本フライングディスク協会会長、日本オリンピック委員会総務委員、ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会顧問、関西ワールドマスターズゲームズ 2021 組織委員会委員なども務める。

講演 II | 世界のスポーツマーケティングの現状について



秦 英之 (はた ひでゆき)

ニールセンスポーツ株式会社 代表取締役社長

ソニー時代に、FIFA (国際サッカー連盟) とのパートナーシップのマーケティングを担当、ワールドカップをはじめ数々の FIFA 大会でグローバル戦略を構築。2013年2月よりレピュコムジャパン (現、ニールセンスポーツ) の代表に就任し、日本の事業拡大に貢献。現在、Jリーグマーケティング委員も務める。



パネルディスカッション

「日本のスポーツとワールドゲームズの未来について」

[敬称略/五十音順]



伊藤 喜澄 (いとう よしずみ)

株式会社ビューキャスト 取締役スポーツ制作統括

「ニュース 23」「エクスプレス」のスポーツ担当デスク、「みのもんたの朝ズバッ!」「あさチャン!」のスポーツ担当プロデューサーを務める。この時期にワールドゲームズと出会い「朝ズバッ!スポーツ」での放送や BS-TBS で 2005 年デュイスブルク大会から 3 大会連続ハイライト番組の制作に携わる。現在は(株)ビューキャスト取締役スポーツ制作統括、TBS テレビスポーツニュース部プロデューサーとして「アスリート夢対談!」や、その他、障がい者スポーツなどの番組制作を担当



上山 容弘 (うえやま やすひろ)

元オリンピックアン

2005年世界選手権で日本人初のメダリストとなり、2006年にはワールドカップで4勝、ワールドカップファイナルでも優勝し、日本人初の世界ランキング1位まで上り詰めた。ワールドゲームズ大会には2005年・2013年、オリンピック大会には2008年・2012年に出場。ロンドンオリンピックでは持ち前の安定した演技を披露し5位入賞を果たした。現在もトランポリン競技の普及のために現役を続行し、2014年環太平洋体操競技選手権で個人・シンクロの2冠を達成するなどトップクラスで活躍している。



大塚 眞一郎 (おおつか しんいちろう)

国際トライアスロン連合 副会長/日本トライアスロン連合 専務理事

1984年から国内外でのトライアスロン競技の普及に努め、2000年シドニーオリンピックからのトライアスロンのオリンピック正式競技入りに尽力。2010年から公益社団法人日本トライアスロン連合専務理事に就任し、国際トライアスロン連合理事、日本オリンピック委員会理事、日本スポーツツーリズム推進機構理事などを歴任。2016年12月より国際トライアスロン連合副会長に就任



長田 渚左 (おさだ なぎさ)

スポーツジャーナリスト/ノンフィクション作家

女性スポーツジャーナリストの草分け的存在であり、現在も旺盛な取材活動を続けている。NPO法人スポーツネットワークジャパン及び日本スポーツ学会代表理事。スポーツ総合誌「スポーツゴジラ」編集長。現在は淑徳大学客員教授、早稲田大学、筑波大学大学院にて非常勤講師を務める。近著に「桃色の魂 チャスラフスカはなぜ日本人を50年も愛したのか」などがある。

| コーディネーター |



佐野 慎輔 (さの しんすけ)

産業経済新聞社 特別記者兼論説委員

報知新聞社を経て産経新聞社入社。シドニー支局長、外信部次長、編集局次長兼運動部長、サンケイスポーツ代表、産経新聞社取締役等を歴任し、産業経済新聞社特別記者兼論説委員並びに笹川スポーツ財団理事を務める。スポーツ記者を30年間以上経験し、野球とオリンピックを各15年間担当。5回のオリンピック取材の経験を持ち、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。共著に「企業スポーツの現状と展望」「JOAオリンピック小事典」などがある。